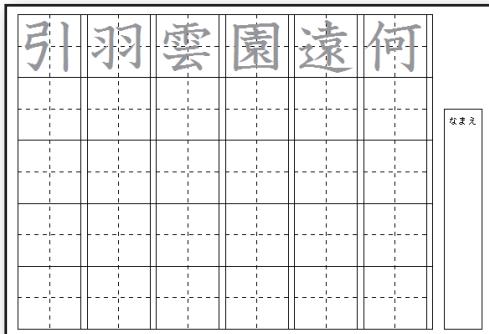




漢字やひらがなの練習教材を作ろう



漢字やひらがなの練習に便利な、書き取り教材を作つてみませんか？ 教材スタジオなら、セル（升目）の一つひとつに十字の点線を入れた表の作成も簡単。

練習したい文字を薄く表示させておけば、手本をなぞるだけで漢字やひらがなの練習ができます。

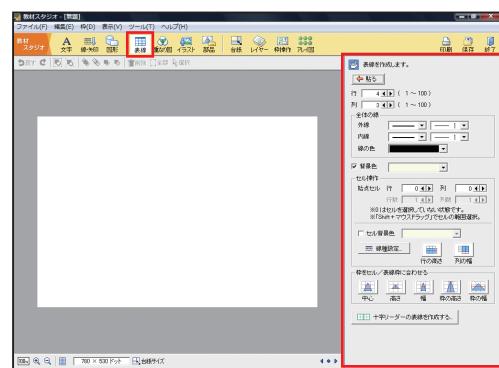


コネタくんからのアドバイス！

教材スタジオには、ひらがなの練習帳のサンプルが用意されているよ。ひらがなの練習なら、このサンプルを使うのが便利だね。

表を作る

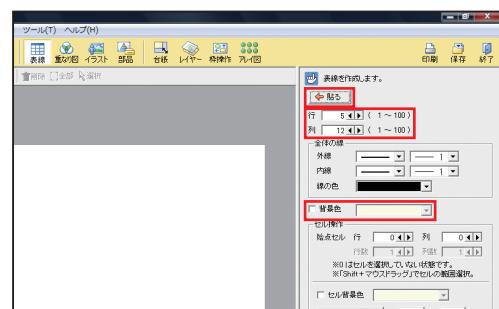
- 1 コマンドバーの [表線] をクリックし、表線設定画面を表示します。



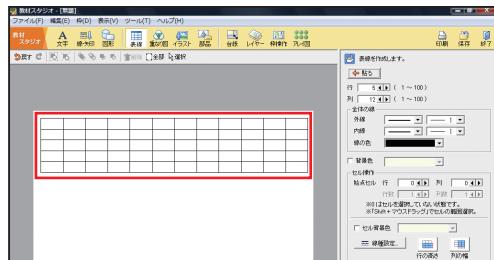
※全体が見やすいように表示倍率を縮小しています。

- 2 [行] と [列] で、作りたい表の行数と列数を指定します。

[背景色] のチェックを外し、[貼る] をクリックします。



- 3** 表が作成されたのを確認します。



点線の十字（十字リーダー）を入れる

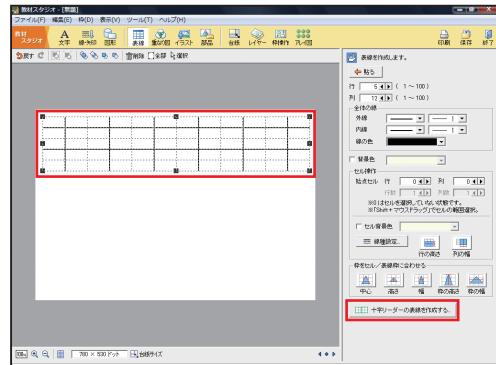
- 1** 表を選択し、十字リーダーの表線を作成するをクリックします。

One Point

表を選択するには、表全体を囲むようにドラッグするか、表の内側をクリックします。

- 2** [十字リーダーの設定] ダイアログボックスで [描画する] にチェックを入れ、十字線の線種やセルのサイズなどを指定します。

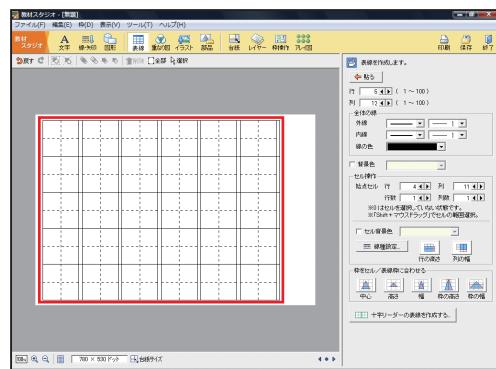
セルとセルの間に行間を入れたい場合は、[偶数列を行間とする] にチェックを入れて [設定] をクリックします。



- 3** 表の各セルに十字リーダーが入ったのを確認したら、ドラッグして表全体の位置を調整します。

One Point

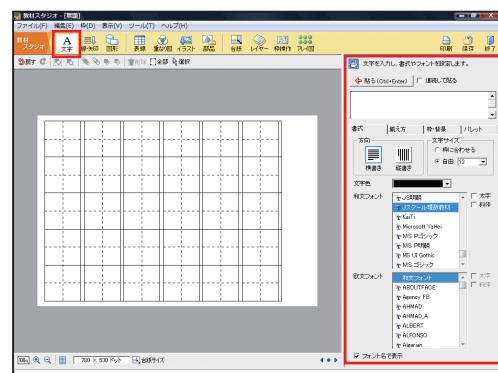
[Shift] キーを押しながら表の四隅の■をドラッグすると、縦横比を保ったまま表の大きさを拡大／縮小できます。



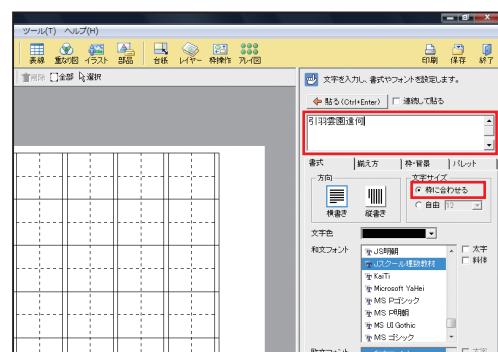
※表が見やすいうように、表の選択を解除しています。

練習用の文字を入力する

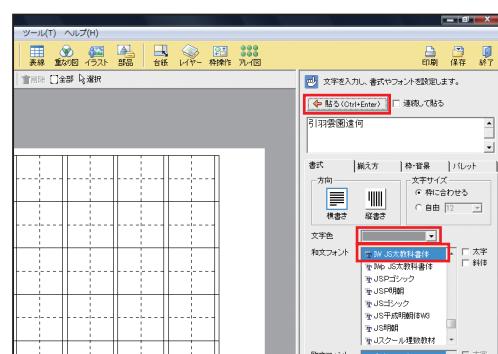
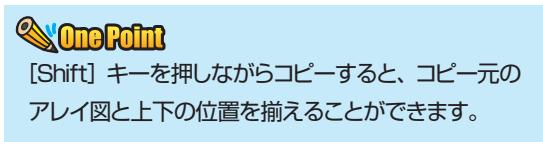
- 1 コマンドバーの [文字] をクリックし、文字設定画面を表示します。



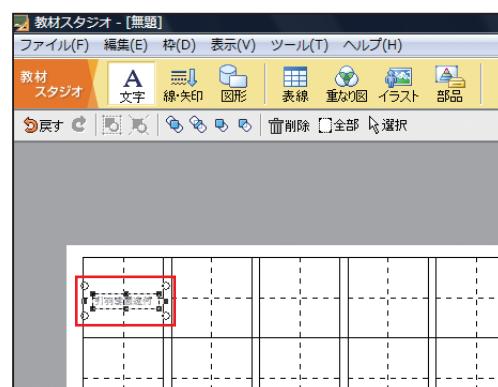
- 2 [書式] シートで「枠に合わせる」を選択し、文字の入力欄に練習したい文字を入力します。



- 3 文字色を薄いグレーに指定し、使いたいフォントを選択して [貼る(Ctrl+Enter)] をクリックします。

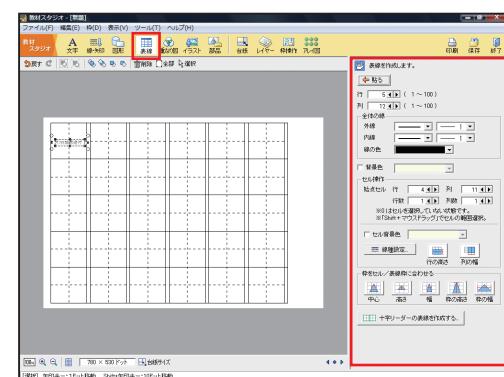


- 4 文字枠が貼り付いたのを確認したら、ドラッグして1行目のセル内に移動します。

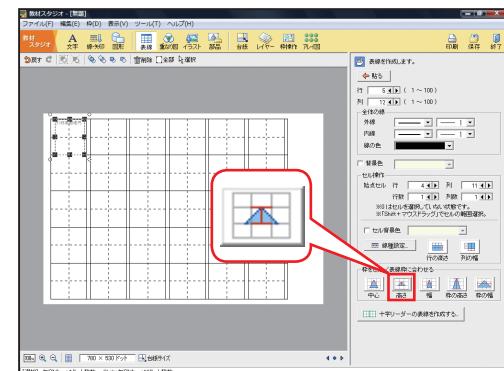


文字枠の大きさを調整する

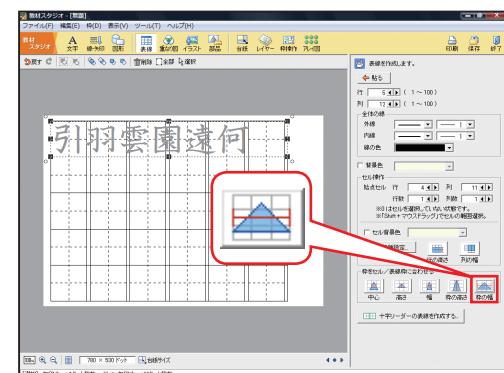
- 1 文字枠を選択した状態のまま、コマンドバーの [表線] をクリックし、表線設定画面を表示します。



- 2 [枠をセル／表線枠に合わせる] の [高さ] をクリックします。

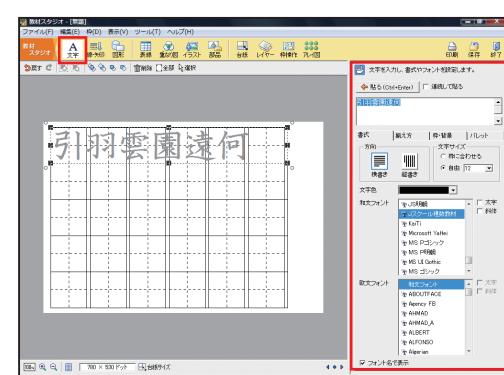


- 3 [枠の幅] をクリックします。



文字間を調整する

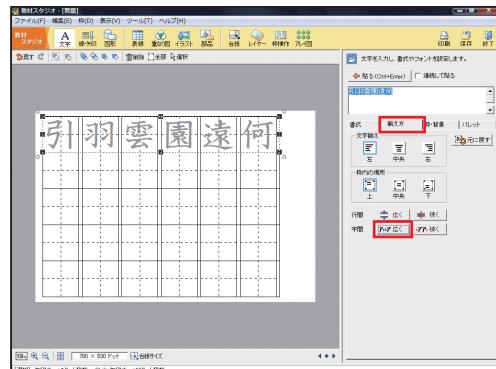
- 1 文字枠が選択された状態のまま、コマンドバーの [文字] をクリックし、文字設定画面を表示します。



- 2** [揃え方] シートをクリックし、**[△△△ 広く]** をクリックして字間を調整します。

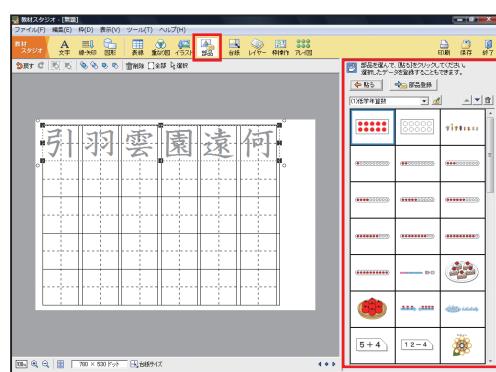


[△△△ 広く] をクリックする度に少しづつ字間が開くので、セルの中央に文字が配置されるまで **[△△△ 広く]** を何度かクリックします。



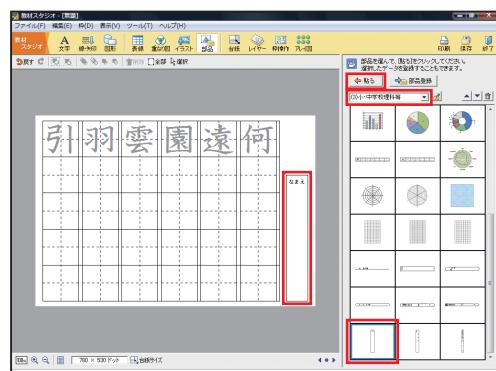
名前記入欄を貼り付ける

- 1** コマンドバーの [部品] をクリックし、部品設定画面を表示します。



- 2** 部品ファイル（ここでは「(3) 小・中学校理科等」）を選択し、名前記入欄の部品を選択して **[貼る]** をクリックします。

部品が貼り付いたのを確認したら、ドラッグして位置を調整します。



サンプルを使ってひらがなの練習教材を作る

教材スタジオには、すぐに使えるサンプルファイルがいくつか用意されています。ひらがな練習用のサンプルファイルを使えば、すぐにプリントとして配布できます。

- ① [ファイルー>サンプルを開く] を選択します。
- ② [サンプルを開く] ダイアログボックスで「教材：ひらがな練習シート」を選択して [OK] をクリックします。
- ③ 必要に応じて文字を入力し直します。

